

# 連文

REN BUN

の  
Vol. 96  
2014.1

第67回 第33回 第43回 第60回  
花柳光君先生が見たかった初夢  
平成25年度久留米市表彰

展驥足——驥足を展ばせ  
筑後詩の集い  
短歌部「歌評会」  
桃青忌俳句大会  
連文会員美術展  
連文会員華道展  
久留米茶道連合会大茶会



明けましておめでとうございます。

今年もまた会員の皆さまの躍進、躍動の年となりますよう、これを表紙に掲げました。

# 展 駿 足 — 駿足を展ばせ

(談) 元谷 京子

——この言葉を選ばれた理由とその意味を教えてください。

今年の干支は「午」です。そこで「馬」を含む格言や成句、諺などを探しているうちに出会ったのが「展駿足」の文字でした。

——この言葉を選ばれた理由とその意味を教えてください。

今年の干支は「午」です。そこで「馬」を含む格言や成句、諺などを探しているうちに出会ったのが「展駿足」の文字でした。

——この言葉を選ばれた理由とその意味を教えてください。

それぞれの分野で活躍されている連

文の皆さまへの新春のメッセージとして、最もふさわしい言葉かなと思いまし

た。

——出典があるのでしょうか。

「蜀史」です。「三国志」に書かれている、魏・呉・蜀の三国のひとつ「蜀」：劉備玄徳が建国し、軍師の諸葛孔明や関羽、張飛、趙雲などのヒーローが活躍した国

の歴史書です。

——あまり目にしない書体で書かれていますね。

現在、使用されている漢字には、篆書・隸書・楷書・行書・草書と五つの書体がありますが、その中で最も古い書体が



篆書です。今回は、その篆書の中でも西周時代(紀元前1070年～前770年頃)の金文(青銅器に記されている文字)をベースにして書いてみました。たとえ読めなくとも、見て感じて何かを想像できる文字だと思いませんか。

——「書初め」の起源や由来について教えてください。

一月一日に新年初めて文字を書く行事で、恵方に向かって目出度い意味の言葉などを書くことだと言われています。また昔は一月一日が仕事始めの日とされていたことから、そのしきたりに習ったものだとも言われています。平安時代に宮中の正月行事となつたことが起源だとされていますが、一般に広まつたのは江戸時代の寺子屋や明治以降の小学校で習字が必修になつてからです。

——平成25年度の久留米市芸術奨励賞の受賞おめでとうございます。

ありがとうございます。ほんとうに光榮なことだと感謝しています。

実は私は「寅年」生まれなのです。「騎虎の勢い」という言葉には「物事のゆきがかり上、はずみがついて途中でやめられなすこと」と、やゝ困惑のニュアンスが含まれているようですが、ここでは文字通り「虎が走る勢い」と解して、受賞の栄誉をバネにしてこの一年を走り抜けたいと思います。そして本物の「駿」となれるよう努めたいと思います。

使う日本古来の伝統行事の「ことば」が死語にならないよう、子どもたちに伝えていかなければと思っています。

——そんな元谷さんの元気の秘訣は何でしょう。

大きな声を出すことです。毎朝7時頃から8時過ぎまで庭の花の世話をしながら、家の前を通り過ぎる小・中学生に「おはよう」と声を掛けています。「変なおばちゃん」と言われたこともありますが、大きな声で返事が返ってくると嬉しくなります。やっぱり元気の源は、人と関わって元気をもらうことですね。

——平成25年度の久留米市芸術奨励賞の受賞おめでとうございます。

使う日本古来の伝統行事の「ことば」が死語にならないよう、子どもたちに伝えていかなければと思っています。

——そんな元谷さんの元気の秘訣は何でしょう。

# 平成25年度 久留米市表彰

11月3日(文化の日)と11月29日、  
市の表彰式が行われました。

連文会員で受賞された皆さんを  
ご紹介します。



(前列右より)

山田明子

田中慧

森史陽

元谷京子

重松結香

財津真理子

## 久留米市功労者

久留米連合文化会顧問 森 史陽

11月3日・文化の日に、久留米市より  
市功労者の称号を授与されました。たい  
へん有難く光栄なことで、身の引き締ま  
る思いです。

私は1965年に久留米連合文化会に  
入会し、爾来、半世紀の間、地域文化の振  
興発展に一表現者として関わって参りました

した。この度の表彰に際して、「永年にわ  
た」と有難い評価を頂きましたが、合わせ  
て連文会長としての実績も評価されたもの  
のと思ってます。これもひとえに連文  
の皆様方のご支援とご協力によるものと  
心より感謝申し上げる次第です。

## 芸術奨励賞

洋画部 田中慧

この度思いがけない奨励賞の栄を受け  
て、喜びと同時に責任の重さを痛感して  
います。すでにご承知の通り、今回の受賞  
者の方々はみな若い人ばかりです。自分  
の年齢を顧みていささか戸惑っている次  
第ですが、若い人には負けられないとい

う度新しく風が吹いています。本  
年度総会で承認されました総合文化部門  
は、運営方針4「文化の多様性に対応した  
体制を確立し、会員増を図る」の具體化と  
して設置され、新しい分野の人々の加入  
が容易になりました。魅力ある部門の構  
築を期待しています。

久留米市総合都市プラザのオーブンも  
二年後です。年間を通じて連文が誇る各  
部の活動が、ここを拠点にして地域にそ  
して全国に発信されることが望されます。  
私も一員として芸術文化の向上に尽力  
して参ります。

表彰式の時にはお腹にいた赤ちゃん  
も、11月10日に無事産まれてくれました。  
いま幸せいっぱいです。

洋舞部 財津真理子

この度久留米市芸術奨励賞を頂き、ほ  
んとうに有難く光栄に思っています。

私は日吉町にありますスタジオ・ダン  
ス・ドリーマーを基点に活動致しており  
ます。スタジオの主宰者である城戸玲子  
先生は宝塚歌劇団の先輩であり、また同

じ賞を受賞された先輩でもあります。多  
くの文化人を輩出している久留米市の出  
身者であることを自覚し、活動の場を大  
きく広げていきたいと思っています。  
この素晴らしい賞を心の支えに、大好  
きな久留米市のある文化発展や、人  
材の育成にも力を注いで参りたいと思  
います。

洋楽部 山田明子

この度の受賞に驚きと喜びでいっぱい  
です。私はクラシックのフルート奏者で  
すが、クラシック音楽を、高いチケット代  
を払つてコンサートホールに足を運び、  
堅く静かに眠気と闘いながら聴くもので  
はなく、より身近に楽しんでもらえるよ  
う活動しています。

スタイルは少々派手ですが、これから  
も頑張つて参りますので、温かく見守つ  
て頂けたら嬉しく思います。

表彰式の時にはお腹にいた赤ちゃん  
も、11月10日に無事産まれてくれました。  
いま幸せいっぱいです。

書道部 元谷京子

この度久留米市芸術奨励賞を頂きました。  
喜びのことばは、次号でお伝えします。

洋舞部 重松結香

この度は久留米市芸術奨励賞という名  
誉ある賞を頂き、喜びで胸がいっぱいです。  
母に手を引かれ、初めてバレエに出  
会つた3歳の夏から24年が経とうとして  
います。たくさんの先生方、先輩方との出  
会いの中で、バレエのお稽古を通じてバ  
レエの事はもちろん、人生に必要な礼儀  
作法、言葉遣いなどを教えて頂きました。

今回頂いた芸術奨励賞を励みに、私自身  
もダンサーとして精進を重ね、今まで以  
上に一人でも多くの生徒さんに、私が学  
んできたバレエという芸術の素晴らしさ、  
美しさ、そして心を伝えていきたいと強  
く願っております。

## 久留米市ふるさと市民賞

日本舞踊部 藤間道優

喜びのことばは、次号でお伝えします。

3

# 花柳光君先生が見たかつた初夢

久留米連合文化会顧問 花柳光君さんは、平成25年8月14日に逝去されました。心から哀悼の意を表します。



その内容は現在の私たちへ向けられたかのような強いメッセージに満ちています。まず前年に行われた「五月の風」に結集された会員たちの相互連携の労をねぎらわれ、さらに同じ5月の総会で実現した「意見交換」に謝意を述べられ、次に「久留米市文化芸術振興条例」の基本計画についての意見交換会で、市民会館の建て替え問題が多くの市民の関心を集めたことを説明された後に、本題の「初夢」に入られます。

花柳光君先生には、会長に就かれた平成13年から退任せられた平成21年までの間に5度ほど、会報『連文』に寄稿していました。

ただきました。会長としての方針を説かれ、会員の活動を賞され、また時には更新なる研鑽を呼びかけられる文章が多くつた中で、『連文』第80号(平成19年1月)にいたいたものはやゝ異色なものでした。

その原稿は「新春雑感——私が見たかつた初夢」と題されていて、いつもより柔らかい筆致を取っていましたが、

必要としている現状です。現在久留米市に2つのホールがありますが、現在の

します。

ホールでは優れた芸術の鑑賞すら出来ません。今の子供達に本物の芸術を鑑賞させ、すばらしい感動を与えてやることが出来ないのが残念です。「三つ子の魂百まで」と言わっていますが、澄み切った子供達の瞳を輝かせる本物の芸術を鑑賞させることが必要です。魂に響く感動の芸術に接する機会の少ない現在の子供達の将来を想像する時、どんな大人になるかと不安の念でいっぱいです。久留米の近郊ですばらしい公演があつても、会館が不評のため素通りしている現状です。ホール建設は「明日では遅すぎ

る」感がします。

欲は言いません。優れた建築学の必要もいりません。使いやすい、見やすい、そして市民が楽しんで利用できる建物で結構。ただし建設を計画する時は是非利用者の意見をよく聞いてほしいと思っています。(中略)

要はすばらしい文化芸術振興の基本計画が策定され、これが美辞麗句の作文しよう。夢の又夢です。芸術文化の振興に関しては、学者や評論家の皆さんのご意見もさることながら、私達現場の第一線で活動する者(連文会員)にとって何よりも発表する場所、練習する場所で、会員皆様のさらなるご協力を願う

ます。

昨年12月2日に理事会と部長会の合同会議が開かれ、平成27年度オープン予定の「総合都市プラザ」での連文事業を「連文全体の実行委員会を立ち上げて実施する」ことが承認されました。施設のオープンまではまだ幾多の糾余曲折も予想される道ですが、連文事業を見事に成功させる道が花柳光君先生の「見たかつた初夢」を「真夢」にする一本道ではないでしょうか。

今こそ連文の出番である。……覚悟をきめて踏み込んだ茨の道でも時には空しくなる道づれの会員同士、連文という運命共同体で力を結集して頑張って戴きたい。少人数では困難な事も優秀な会員の英知の結集には不可能は無いと思う。

久留米連合文化会創立60周年記念『垣根を越えて「連」に寄せられた、花柳光君先生の「志を永遠に」の一節です。

(広報委員(学芸部)・吉原政隆)

10月28日、花柳三枝君様(日本舞踊部)より、ご母堂(花柳光君元顧問)のご遺志として30万円のご寄付をいたしました。連文特別運用基金へ納入しました。

(事務局)

## 第33回 連文会員華道展



9月4日(水)から9日(月)まで、岩田屋久留米新館4階催事場で開催しました。

今回は華道人口増のために何か新しい企画でアピールを…と思い、子供体験を試みました。幸い多数の方々にご来場いただき、入場者は4千人を超えて人々に会場は賑わいました。今後も子供体験を続けていくつもりです。

(華道部・諸岡宏明)

## 第67回 久留米茶道連合会大茶会

(法要茶会)



11月10日(日)梅林禪寺(久留米市京町)において梅林寺老師を先導に12名の雲水方によりとり行われました。

物故会員の施餓鬼法要に参列した後、それぞれ心をこめて設けた茶席で参會者に一碗を呈しました。早朝の雨もたいした事なく、この茶会の伝統を護り残して下さった諸先輩先生方に感謝の念を新たにした茶会でした。

(茶道部・草場宗玲)

## 筑後・詩の集い

玄海椿のひとり芝居とトーク

11月10日(日)午後2時から、久留米市立図書館視聴覚ホールにおいて、福岡県詩人会筑後支部と合同で開催。31名の参加を得ました。

第1部は「君よ がれきの華となれ」の上演。東日本大震災でトタン板の上で17時間漂流して、たったひとりだけ生き延びた4人家族のドキュメント・ドラマです。突然襲つた大津波により夫

は海中に投げ出され、最愛の息子たちももがき苦しみながら目の前から消えてゆく……劇の内容はとても悲惨でしたが、人間の心の底から沸き上がる生きる力を感じさせる芝居でした。

第2部は詩人会会員と詩と芝居についての対談。玄海さんの「芝居は身体全体を使って生命を表現する」という言葉が印象的で、芝居、詩、そして文学と表現方法の違いはあるものの、共通する精神が必要だと思われました。

(詩部・緒方和実)

## 第41回 連文書作家展



10月23日(水)から27日(日)まで、石橋美術館1階ギャラリーに於いて開催しました。台風の影響を心配しましたが1300名を越える参觀者となり感謝申し上げます。

出品者56名で156点の展示。本年は親しみやすい書「秋をかく」をテーマの作品も好評でした。各々、形態や創意工夫がされ彩りも豊かで楽しい展覧会でした。

(書道部・宮崎悠雲)

# 第43回 連文会員美術展

会期



日本画「醉芙蓉」池田 房子 (久留米市)



洋画「十月」隈丸 千代ノ (久留米市)



水墨画「街」  
古賀 利恵 (久留米市)



洋画「あの頃の夢」  
馬場 君子 (久留米市)



写真「蜘蛛妖婉」中島 正 (久留米市)



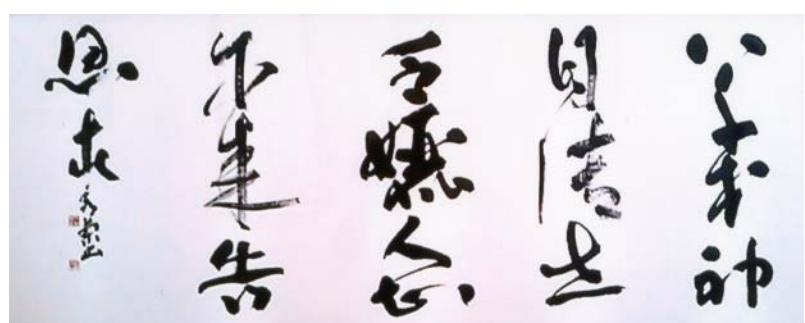
写真「応援団」  
中村 富 (久留米市)



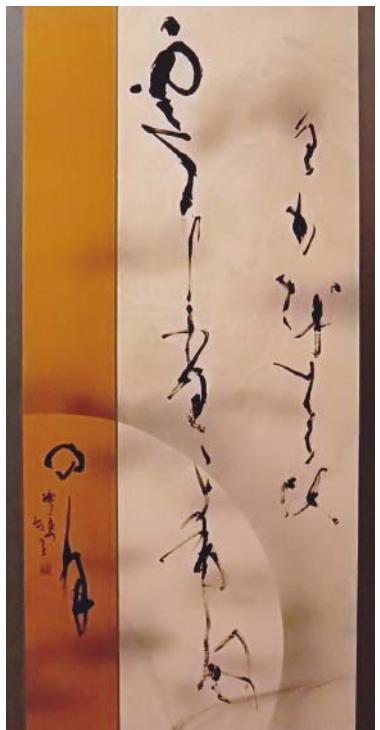
工芸「初秋」(染色) 坂本 康子 (久留米市)



工芸「久留米小唄」(陶彫) 八田 絹代 (久留米市)



書道「萬葉歌」今里 秀蘭 (広川町)



書道「風の月」  
中川 勝詔 (久留米市)



デザイン「Life!」吉本 暢子 (久留米市)



彫刻「父と母と沖縄の新聞記事」元田 典利 (八女市)

## 短歌部「歌評会」

7月6日(土)に、えーるピア久留米で開催しました。選者2名による特選歌と互選1位と2位は次の通りです。

### ◎特選歌

大津留敬選

亡弟の横に納骨せし亡母の驚く声の聞こえて来さう

辻 三千代

### ◎芭蕉忌や貧しき一句奉る

小川順子選

かかる機でかの大戦に当たりしかと零戦さすりぬ鹿屋記念館に

堀江 英毅

### ◎桃青忌山の靈気に身を正す

矢野 愛子

老の家の二つの椅子に四つたし  
ふた月ぶりの子の家族待つ

境 宏子

### ◎あの頃の旅は如何にと翁の忌

谷川章子選

尾瀬ヶ原大海知らずけんめいに  
池塘をおよぐ赤腹蝶蝶

白石 厚子

### ◎竜笛に始まる新嘗祭を今

黒田 充女

### ◎桃青忌山の靈気に身を正す

谷川章子

ゆつたりと舞ひぬし鷹の急降下  
けものを追へり阿蘇すすき原

藤吉 宏子

### ◎高良社の朝の靈気や冬桜

谷川 章子

いや増せる書籍の整理に時忘る  
たかぶり読みしもいろ褪せて出づ

赤司 忠子

### ◎互選2位

裾野より草なびかせて登り来る  
大観峰に夏の風吹く

大津留偕子

(短歌部・名島ミヤ子)

## 第60回 桃青忌俳句大会

## 連文サロン

11月23日(祝)、御井校区コミニティセ

ンターで開催しました。

今年も神事は遠慮し、選者も3名としました。

### 特選句(◎)と佳作は次の通りです。

### ◎芭蕉忌や貧しき一句奉る

小川順子選

しづけさを湛へて荘の冬紅葉

大日方 明美

### ◎桃青忌山の靈気に身を正す

矢野 愛子

### ◎高良社の朝の靈気や冬桜

谷川 章子

### ◎竜笛に始まる新嘗祭を今

黒田 充女選

青空の疵一つなき桃青忌

大島 シゲ子

### ◎芭蕉忌や貧しき一句奉る

谷川章子選

ゆつたりと舞ひぬし鷹の急降下

藤吉 宏子

### ◎高良社の朝の靈気や冬桜

大日方 明美

### ◎芭蕉忌や貧しき一句奉る

谷川 章子

いや増せる書籍の整理に時忘る  
たかぶり読みしもいろ褪せて出づ

赤司 忠子

### ◎芭蕉忌や貧しき一句奉る

谷川 章子

いや増せる書籍の整理に時忘る  
たかぶり読みしもいろ褪せて出づ</

## 9回 久留米ジュニア川柳大会

今回のテーマは「虫」。2947人、4668句の応募があり、久留米連合文化会賞など120人を10月26日(土)、久留米市役所くるみホールで表彰しました(他に入選150人)。



## 第17回 下水道フェア呈茶席

9月23日(月)の正午から午後3時まで、南部浄化センターで呈茶席を設けました。秋晴れの秋分の日、大勢のお客様で賑わう盛況で、私たちにも充実した一日となりました。今回は大日本茶道学会が担当しました。

(茶道部・井上仙雅)

### 裏千家淡交会久留米支部 歳末助け合い茶会

12月1日(日)、毎年途絶える事なく会を重ね、60回目のチャリティ茶会をくるめりあ六ツ門にて開催しました。

朝から小雨模様で少し出足が鈍い感じでしたが少しずつ多くなり、2席の薄茶席を「茶謝」の想いで楽しんでいただきました。出席者500名ほどで終日賑わいました。(茶道部・北島宗美)



## 連文サロン

### 「菅虎雄先生顕彰碑と漱石句碑

学芸部◎西尾 拓

江戸生まれの夏目漱石と久留米生まれの菅虎雄は学生時代に出会い、三歳ほど年上の菅は漱石が兄とも慕う親友でした(久留米物語「漱石の道」より)。この二人についての著作がある原武哲先生(福岡女学院大学名誉教授)もまた久留米市在住の方と知り、その背中をそつと押しに行つたのがなれそめで菅虎雄先生顕彰会の発起人に名を連ねました。

顕彰会の事業計画の第一は「菅虎雄先生顕彰碑」を建立することでした。その地はぜひ菅家の菩提寺である梅林寺に

と:東海大玄老師、護持会、外苑委員会

に趣旨を説明しますと

ができました。梅林寺外苑の一角に、向かって右に書家でもあつた菅先生の筆跡で『氣如龍』と刻した顕彰碑、左に漱石が新婚旅行で立ち寄った時に詠んだ『碧巖を提唱す山内の夜ぞ長き』の句碑、中央に手を取り合うイメージで一人の「縊」を表したモニュメントが並びました。

高良山頂の森林つつじ公園と草野町の発心城跡や発心公園には、すでに5基の漱石句碑があります。これに新しい句碑を結ぶと久留米を東西に貫く「漱石の道」になりますが、この道は「高良大社」鳥居石碑、篠山城「戊辰役從軍記念碑」、梅林寺「菅家累代之墓」と菅先生の墨蹟を訪ねる道ともなり、「友情の道」とも呼べそうです。

顕彰会の事業計画の第二は「菅虎雄先生誕百五十年記念文集」の発刊です。その年、今年の誕生日(10月18日)までには発刊すべく、寄せられました回想記、評論などの整理、推敲を始めたところです。顕彰会には連文の森前会長、そして木村現会長にも理事として参画していますが、「記念文集」発刊の際は連文の皆さんより一層のご支援、ご協力ををお願いします。

せみの声受験生への応援歌  
信愛高 3年 坂本奏子

(川柳部・堤日出緒)

## 第21回 ふくおか県民文化祭 オープニングイベント

2012年7月の北部九州豪雨により、大きな被害を受けた矢部川流域の復興を願つて、「川の想ふるさと・響」をテーマに三部形式で構成しました。

- ・10月6日(日)14時開演
- ・サザンクス筑後大ホール
- ・総合演出 斎藤豊治

〔第一部〕ふるさとの響き  
矢部川流域の太鼓演奏



6月2日(日)に、筑後川河口付近を中心になりました。杜の蔵酒造、清力美術館、昇開橋、吉原家住宅、九州芸文館を見学、有意義で楽しい日帰りの旅でした。

(水墨画部・井内寛娟)



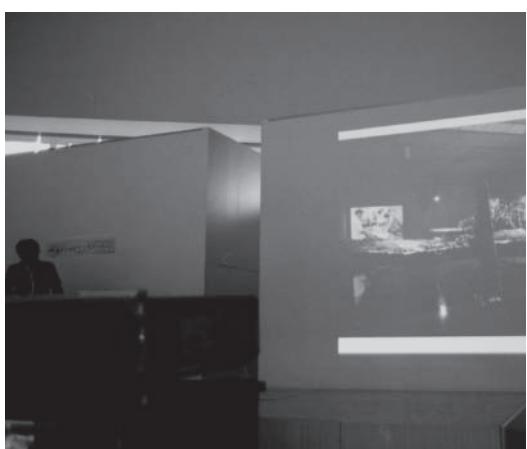
11月15日(金)～16日(土)、一泊二日の日程で、三重県に総勢13名で研修旅行へ行つて参りました。

1日目は、五十鈴川沿いの紅葉も赤く色付いた伊勢神宮を参拝しました。今年、式年遷宮を終えたばかりの内宮は大勢の人で溢れていました。

2日目は、四日市にある澄懷堂美術館へ足を延ばし、山本悌二郎氏収藏の宋朝～清時代の書画を鑑賞。常設の張瑞図を始め、大小様々な迫力ある書は、私たちの心を捉えて離しませんでした。伊勢神宮で神聖な氣を感じ、澄懷堂美術館で創作意欲を掻き立てられる、充実した旅となりました。 (書道部・成清紅葩)

## 水墨画部写生取材旅行

11月15日(金)～16日(土)、一泊二日の日程



## 町おこしシンポジューム 彫刻からパブリックアートへ

11月24日(日)、九州芸文館で開催。パネ

- リストは、①筑後市役所・松永俊さん、  
②美術作家・牛島智子さん、③元長崎県立美術博物館学芸員・徳山光さん、④福岡市美術館学芸員・山口洋三さん、⑤西日本新聞社・南陽子さん、⑥キュレーター・花田伸一さんの6人で、それぞれの立場から、①「久留米絣」を用いた滞在制作など、②母親・女性としてのパブリックな存在からの取り組み、③パブ

リックアートと文化的環境との関係、④パブリックアートの場所性、作品と場所の関係、⑤手紙で人と人をつなぐことをアートとした熊本県津奈木町の例、⑥作品の意味・価値・解釈はコンテキスト(文脈)によって決まるとの考察や意見、事例などが発表されました。また夜の「美術嘶」では、花田伸一さんの地域資源の掘り起こしやライブ的なアートプロジェクトなどをテーマにした講演が行われました。

(彫刻部・元田典利)



## 書道部研修旅行を終えて

11月15日(金)～16日(土)、一泊二日の日程

- で、三重県に総勢13名で研修旅行へ行つて参りました。

1日目は、五十鈴川沿いの紅葉も赤く色付いた伊勢神宮を参拝しました。今年、式年遷宮を終えたばかりの内宮は大勢の人で溢れていました。

2日目は、四日市にある澄懷堂美術館へ足を延ばし、山本悌二郎氏収藏の宋朝～清時代の書画を鑑賞。常設の張瑞図を始め、大小様々な迫力ある書は、私たちの心を捉えて離しませんでした。伊勢神宮で神聖な氣を感じ、澄懷堂美術館で創作意欲を掻き立てられる、充実した旅となりました。 (書道部・成清紅葩)

10月13日(日)、久留米市民会館小ホールで開催、①自由曲②課題曲③三味線合奏④11月の朝倉市民芸術祭・文化芸能祭出演予定曲の4部構成で進行しました。開幕曲は花笠音頭で、伴奏の三味線に鳴物が加わり賑やかに始まりました。民謡にはお座敷唄や仕事唄などがあり、それぞれ地方色を出した独特なものがあります。どのように唄えば、それを聴く人に伝えられるか…おさらい会では、みな懸命に練習してきたものをお出し合いました。色々な土地の民謡を覚えるのはとても面白いことです。

今年も出せる力を出し切り、一年間の集大成ともなる良いおさらい会になりました。  
(民謡部・石原正子)



くるめ市民劇団『ほとみき俱乐部』  
第5回 中間発表会

8月31日(土)に、久留米市民会館小ホールで上演しました。

①宮沢賢治原作 かまほりしげる演出  
『注文の多い料理店』

②シェイクスピア原作 中村勉也演出  
『真夏の夜の夢』より

③ 松井直一演出  
『悪魔のお仕事』

三つの小さな作品を発表しました。

3月22日(土)・23日(日)の本公演はシェイクスピアの『真夏の夜の夢』を上演します。目下練習に励んでいます。

(映画演劇部・権藤元二郎)

フジタバレエ研究所では第31回バレエリサイタル「ドン・キホーテ」を8月11日(日)久留米市民会館にて上演しました。「ドン・キホーテ」の物語はスペインのラマンチャの郷土ドン・キホーテの物語のバレエ作品です。ドン・キホーテという人物は自分の幸せより人の幸せを願い、その幸せが実現するよう尽力する人物です。

フジタバレエではお稽古を通じて、お互いに感謝をし感謝される体験を積むことによつて「人様から喜ばれる喜び」の真の意味を学んでいます。

そして研究生はそれを全身を使って表現し、演じることの欲ひを舞台一杯に繰り広げ、次の作品への夢を広げてこれからも精進を重ねて参ります。

(洋舞部・藤田美知子)

フジタバレエ研究所  
第31回バレエリサイタル  
ドン・キホーテ



12月8日(日)、穏やかな日曜日、クリスマスコンサートをサザンクス筑後にて開催しました。ジヤズ・タップ・バレエ・ヒップホップを幼稚園児から大人まで総勢70人で披露しました。

沢山の拍手をいただき、来年7月のダンスギャザリングに向けて、成長し続けていきます!  
(洋舞部・城戸玲子)



スタジオDD  
クリスマスコンサート

12月8日(日)、穏やかな日曜日、クリスマスコンサートをサザンクス筑後にて開催しました。

マスコンサートをサザンクス筑後にて開催しました。

【口語報】report RENBUN CALENDAR

平成25年 8月～12月

第31回バレエリサイタル「ドン・キホーテ」	8/11(日)・久留米市民会館
倉敷児童合唱団・久留米児童合唱団交歓演奏会	8/17(土)・石橋文化ホール
管弦楽団「響」第6回演奏会	8/18(日)・石橋文化ホール
天神ダンススクール・サマー発表会	8/25(日)・ホテルニユープラザ
柿原聰展	8/27(火)～9/1(日)・石橋美術館1Fギャラリー
くるめ市民演劇団「ほとめき俱楽部」第5回中間発表	8/31(土)・久留米市民会館小ホール
創元会第33回福岡支部展	9/4(水)～8(日)・石橋美術館1Fギャラリー
第33回連文会員華道展	9/4(水)～9(月)・岩田屋久留米店
原浩美ピアノリサイタル	9/7(土)・えーるピア久留米視聴覚ホール
劇団PROJECTひあ劇団公演	9/7(土)・8(日)・石橋文化会館小ホール
2013西部水彩展	9/15(日)・九州芸文館大交流室
第17回下水道フェア呈茶席	9/16(祝)・石橋美術館1Fギャラリー
第62回久留米市総合美術展	9/23(月)・南部浄化センター
第43回連文会員美術展	9/23(月)・石橋美術館1Fギャラリー
平成25年度おさらい会(一川会)	9/23(月)・久留米市民会館小ホール
木村フォトセミナー写真展2013	9/16(水)～20(日)・えーるピア久留米市民ギャラリー
第49回久留米三曲協会定期演奏会	10/20(日)・石橋文化センター共同ホール
久留米吟詠道連盟第54回吟劍詩舞道大会	10/20(日)・久留米市民会館小ホール
小川幸男芸術奨励賞受賞記念絵画展	10/22(火)～27(日)・久留米市一番街多目的ギャラリー
第41回書作家展	10/23(水)～27(日)・石橋美術館1Fギャラリー
第9回久留米ジユニア川柳誌上大会(表彰式)	10/26(土)・久留米市庁舎くるみホール
第67回久留米茶道連合会法要大茶会	10/10(日)・梅林寺
筑後・詩の集い	11/10(日)・久留米市図書館視聴覚ホール
第65回西部示現会展	11/12(火)～17(日)・石橋美術館1Fギャラリー
篆刻作品展	11/12(火)～17(日)・久留米市一番街多目的ギャラリー
第25回南祥会書作家展	11/19(火)～24(日)・久留米市一番街多目的ギャラリー
ムジカ・ソナーレ・アンサンブル第22回演奏会	11/16(土)・石橋文化センター共同ホール
第60回桃青忌俳句大会	11/23(祝)・御井校区「ミュニティセンター
町おこし・ボジョーム 彫刻からパブリックアートへ	11/24(日)・九州芸文館
裏千家淡交会久留米支部第60回歳末助け合い茶会	12/1(日)・くるめりあ六ツ門
舞台アート工房・劇列車定期公演「親と子の民話劇場」	12/6(金)～8(日)・木下樂器すわの店イベントホール
第20回賢順記念くるめ全国箏曲祭	12/7(土)・石橋文化センター共同ホール
スタジオDD・クリスマスコンサート	12/8(日)・ササンクス筑後小ホール
青木繁旧居生け花展示(草月流・草月流・嵯峨御流・毎週交代)	通年・青木繁旧居
JR久留米駅生け花展示(小原流・草月流・嵯峨御流・毎週交代)	通年・JR久留米駅構内

【芸術散策○行事のお知らせ】information RENBUN CALENDAR

平成26年 1月～5月

文推協ニユーライ・コンサート	1/11(土)・萃香園
心象会展 水墨画	1/21(火)～26(日)・一番街多目的ギャラリー
第21回池坊一甫会花展	1/25(土)・26(日)・ホテルニユープラザ
連文役員新年会	1/19(日)・ホテルマリターレ創世
第12回ジュニア青木繁展	1/22(火)～11(日)・久留米市役所2F
舞台アート工房・劇列車公演「人形劇であそぼ!」	2/15(土)・金丸校区「ミニユーティセンター
劇団0(ゼロ)公演「white」	2/16(土)～17(日)・久留米市民会館
藤間紋満紀日本舞踊勉強会	3/9(日)・文化センター共同ホール
青木繁旧居華道展(草月流万年青会中野松芳社中)	3/18(火)～23(日)・青木繁旧居
茶を楽しむ会(江戸千家久留米不白会)	3/21(祝)・坂本繁二郎生家
くるめ市民劇団「ほとめき俱楽部」公演「夏夏の夜の夢」	3/22(土)・23(日)・久留米市民会館大ホール
第61回けしき祭	3/23(日)・かぶと山
合同歌集「久留米歌壇」第29集	4/1(火)発行
第73回国際写真サロン展	4/2(水)～6(日)・石橋美術館1Fギャラリー
第43回西部写真コンクール展	4/20(日)・少林寺
第60回連文茶道部大茶会	4/22(火)～27(日)・石橋美術館1Fギャラリー
第65回西部水彩公募展	4/22(火)～27(日)・石橋美術館1Fギャラリー
第60回連文茶道部大茶会	4/22(火)～27(日)・石橋美術館1Fギャラリー
久留米文学第61号	5/1(木)発行
久留米児童合唱団第43回定期演奏会	5/4(祝)・石橋文化ホール
第8回連文芸部会員展	5/13(火)～18(日)・えーるピア久留米市民ギャラリー
第50回久留米短歌大会	5/25(日)・石橋文化会館小ホール
平成26年度連文定期総会・祝賀会	5/31(土)・ホテルマリターレ創世
青木繁旧居生け花展示(草月流万年青会中野松芳社中)	通年・青木繁旧居
JR久留米駅生け花展示(小原流・草月流・嵯峨御流・毎週交代)	通年・JR久留米駅構内

計報(平成25年7月～12月) 謹んでご冥福をお祈り致します。

花柳光君さん(顧問・日本舞踊) 平成25年8月14日

田中宗恭さん(茶道) 平成25年9月4日